

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	精神看護学概論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2学年		学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	松岡 清子	実務経験と その関連資格	国立京都病院、国立病院機構兵庫中央病院、国立病院機構やまと精神医療センターで勤務 看護師			
《授業科目における学習内容》						
現代社会における生活を営む上での視点から、人間の成長発達、精神の健康段階、人間関係、生活の場と環境の関係性を学び、精神を病む危険性は誰にでもあることを理解する。また精神医療・看護の歴史の変遷、倫理と人権について学習し、精神看護の基本的な考え方、役割を学ぶ						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
系統看護学講座 専門分野Ⅱ精神看護の基礎 精神看護学①(医学書院)						
《授業外における学習方法》						
指定した教科書を事前に読んでおくこと 授業終了時に示す課題を実施しておくこと 前回授業内容について復習をしておくこと						
《履修に当たっての留意点》						
入院、地域にかかわらず精神障害を持つ患者とその家族に対して、リカバリーという援助を中心に考え、疾患の理解、患者の抱える問題、などにさらに当事者の持つ力、レジリエンスといったポジティブな可能性に着眼する看護のあり方を考えていけるように学習を進めてほしい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	現代社会における精神保健・看護ニーズの高まりの背景を説明できる	教科書	最近のニュースからストレス社会の構造と危険性を読み解く	
		各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> 心のケアと現代社会 日本における精神科医療の現状 世界的な仮題としてのメンタルヘルス 			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神障害の体験やその苦しみを踏まえ、精神看護学で学ぶことを説明できる	教科書	精神障害者の体験記を読む	
		各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> 精神障害の病的体験の苦痛、生きにくさ 精神看護学で学ぶ、生きにくさの理解、関係性の理解、精神看護学の基本的な考え方 			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神の健康とはなにか、精神の障害とはなにかを説明できる	教科書	自分の精神的健康について説明できるようにしておく	
		各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> 精神が健康であるという状態 精神が健康であるために必要な力 健康障害の定義、捉え方 			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神障害につながる危機の予防と回復への支援を説明できる	教科書	理論をもとに自己のストレス耐性づくりを検討する	
		各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> ストレスおよび精神の健康における危機とな何か 精神障害に対する3つの予防概念 危機の予防に必要な力とサポート 心的外傷からの回復を支える考え方 			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	人の心の諸活動のしくみである、意識・認知・感情・学習の関連について説明できる	教科書		
		各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> 意識と認知機能 感情 学習と行動 知能 			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	人格の発達に関する代表的な理論について説明できる	教科書	
		各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> ・人格と気質 ・人格の漸成的発達理論 ・精神力動理論 		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	対象との関係の中で自己が形成される過程を説明できる	教科書	
		各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> ・対象関係論 ・愛着理論 ・自己心理学 ・「甘え」理論 		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護の対象である家族と集団について学び、家族ケアの考え方を説明できる	教科書	
		各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> ・精神の健康における家族の重要性 ・家族内のコミュニケーションのゆがみ ・システムとしての家族 ・家族療法の考え方と技法 		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	集団が人の成長と回復に及ぼす影響を学び、グループの力を治療的に用いる方法を説明できる	教科書	
		各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> ・集団が人の成長発達と人間性の回復に及ぼす影響 ・全体としてのグループのみかた ・治療としてのグループを実践するときの原則 		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神疾患・障害とその治療の歴史的な流れを説明できる	教科書	
		各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> ・精神障害の治療の歴史 ・日本における精神医学、精神医療の流れ 		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神科看護師として知っておくべき法制度について説明できる	教科書	
		各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科領域における法律の意義 ・精神保健福祉法 ・障害者総合支援法 ・障害者虐待防止法 ・障害者差別解消法 ・医療観察法 		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	文化的、社会的視点から精神障害について述べることができる	教科書	
		各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> ・精神障害と文化 ・精神障害と社会学 		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	パーソナルスペースについて理解する。	パソコン、プロジェクター	自身のパーソナルスペースについて把握しておくこと
		各コマにおける授業予定	パーソナルスペース		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	ケアにおける沈黙について理解する。	パソコン、プロジェクター	コミュニケーション時の沈黙の経験について話せるように準備しておくこと
		各コマにおける授業予定	ケアにおける沈黙		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	自己一致、コンフロンテーションについて理解する。	パソコン、プロジェクター	自己一致、コンフロンテーションについて調べておくこと
		各コマにおける授業予定	自己一致、コンフロンテーション		